

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 木曜1.2限	教室名	403号室・体育館
担当教員	野崎美樹	実務経験と その関連資格	作業療法士として障がい者施設、団体などでの障がい者スポーツ指導などの経験あり。			
《授業科目における学習内容》						
怪我や障害の悪化に不安を抱える方や、障害があるのでもうまくできないとためらっている方々などに対し、それぞれの障害特性を理解した上で適切な指導を行い、身近な地域で安心してスポーツを楽しんでもらえるように、必要な知識と技術を学習していく。						
《成績評価の方法と基準》						
授業で体験したレポート96%、大会補助としての参加、平常点(態度・準備)4%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者スポーツ指導教本—初級・中級 [訂版] (ぎょうせい)</li> <li>・ 全国障害者スポーツ大会競技規則集—2020年度版 (公益財団法人日本障がい者スポーツ協会)</li> </ul>						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。</li> </ul>						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初級障がい者スポーツ指導員養成を中心に教授・実技する。</li> <li>・ 作業療法士がハンデを持った方に対し、楽しみ～競技に向けてスポーツに取り組む意味を知ろう。</li> </ul>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質の理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
	各コマにおける授業予定	スポーツにおけるインテグリティを理解し、プレイヤーズファーストの視点やプレイヤーとともに学び続ける姿勢について学ぶ				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者スポーツの意義と理念の理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
	各コマにおける授業予定	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解する。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	全国障害者スポーツ大会の概要の理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
	各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の基本理念など大会の概要及び大会開催の目的や意義について学び、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の動機づけになっていること、地域のスポーツ振興を進める契機となっていることを学ぶ				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者に対して、活動上の健康や安全管理に配慮した指導を行えるようになる。各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
	各コマにおける授業予定	身体障害とスポーツ聴覚・言語障害—聴覚障害・言語障害内部障害—循環機能障害・腎機能障害・呼吸機能障害 肢体不自由—脳血管障害・脊髄損傷・脳性麻痺・切断 視覚障害—視力障害・視野障害・明暗順応障害・色覚障害。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者に対して、活動上の健康や安全管理に配慮した指導を行えるようになる。各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
	各コマにおける授業予定	身体障害とスポーツ聴覚・言語障害—聴覚障害・言語障害内部障害—循環機能障害・腎機能障害・呼吸機能障害 肢体不自由—脳血管障害・脊髄損傷・脳性麻痺・切断 視覚障害—視力障害・視野障害・明暗順応障害・色覚障害。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者に対して、活動上の健康や安全管理に配慮した指導を行えるようになる。各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	身体障害とスポーツ聴覚・言語障害－聴覚障害・言語障害内部障害－循環機能障害・腎機能障害・呼吸機能障害 肢体不自由－脳血管障害・脊髄損傷・脳性麻痺・切断 視覚障害－視力障害・視野障害・明暗順応障害・色覚障害。			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がいのある人との交流をすることでコミュニケーションや関りを学ぶ		教科書・スポーツ教室・大会ボランティアでの実技	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞いたり、スポーツ活動現場に出かけ障がい者とのふれあいを通じ、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ。県のスポーツ大会ボランティア参加。			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がいのある人との交流をすることでコミュニケーションや関りを学ぶ		教科書・スポーツ教室・大会ボランティアでの実技	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞いたり、スポーツ活動現場に出かけ障がい者とのふれあいを通じ、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ。県のスポーツ大会ボランティア参加。			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する諸施策を理解する		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	わが国の障がい者福祉施策(障害者手帳を含む) および障がい者スポーツに関する施策(スポーツ基本法やスポーツ基本計画など)について学ぶ			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	安全管理を理解する		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。(ヒヤリハットや指導者の安全配慮義務、AED、応急手当など)			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫を理解する		教科書・実技	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためのルール・用具の工夫や指導員としての留意点・接し方について実技を通して学ぶ。 ・各種障がい特性に応じた工夫の基本的な視点と方法・実技、実習、演習を通して 用具やルールの工夫や考え方を学ぶ。			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫を理解する		教科書・実技	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためのルール・用具の工夫や指導員としての留意点・接し方について実技を通して学ぶ。 ・各種障がい特性に応じた工夫の基本的な視点と方法・実技、実習、演習を通して 用具やルールの工夫や考え方を学ぶ。			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ推進の取り組みを学ぶ		教科書・大会ボランティアでの実技	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関わられるように、地域(鳥取県・鳥取市)の障がい者スポーツ振興の現状について学ぶ。また、体験をすることで理解を深める。			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	障がい者に対して、活動上の健康や安全管理に配慮した指導を行えるようになる。各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫理解		教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	身体障害とスポーツ聴覚・言語障害－聴覚障害・言語障害内部障害－循環機能障害・腎機能障害・呼吸機能障害 肢体不自由－脳血管障害・脊髄損傷・脳性麻痺・切断 視覚障害－視力障害・視野障害・明暗順応障害・色覚障害。			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	コミュニケーションスキルの基礎		教科書・実技演習	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	障がい者スポーツ指導者として必要なコミュニケーションスキルやソーシャルスキルの基礎を学ぶ。障がい者の方が参加される大会・スポーツ教室のボランティアを通して体験から学びを深める。			